

輪島市三井地区仮設住宅の住環境改善支援

指導教員 金沢工業大学 教授 竹内申一

参加学生

金沢工業大学
大学院 濱村美里 大手晃生 宮澤颯 安井千尋
4年 池田怜広 栢森美羽 小林礼人 坂林真帆 長谷川航洋
本多生

金沢大学
大学院 田中正道 伊藤夢乃 加藤さくら
4年 佐々木偉琉 白井溪太 西彩華

富山国際大学
4年 尾崎令奈



2025年11月1日 三井里山文化展で洲衛獅子舞保存会の方々と獅子舞を復活させた様子



GAPPAnoto(北陸建築学生仮設住宅環境支援プロジェクト)ホームページ



金沢工業大学 建築学部 建築デザイン学科 竹内申一研究室
輪島市三井地区仮設住宅の住環境改善支援



1. 活動の要約

被災地に建設された仮設住宅は、最低限の広さと設えによって造られているため十分な使いやすさと快適性を備えているとは言い難い。そうした状況に対して、建築を学ぶ学生だからこそその視点で仮設住宅の住環境を改善するためのアイデアを提案・実装し、被災者の生活や住環境を豊かなものとする支援を行う。また、空間的な支援に加え、ワークショップの開催や文化活動への参加によって地域のコミュニティを支援することも目標としている。

2. 活動の目的

上記の内容に重なるが、活動の目的としては以下の点が挙げられる。

1・モノづくり(家具の製作や共有空間の充実など)による空間的環境改善支援

2・コトづくり(ワークショップやイベント、お祭りの開催など)による地域コミュニティ支援

この2つの活動の軸を中心として居住者との対話を重ね、必要に応じて目的を修正・追加しながら活動を継続する。

3. 活動の内容

令和7年6月から令和8年1月までの主な活動は以下のとおりである。

1・令和7年6月27日

段ボール収納の配布等

2・令和7年10月21日

バーベキューベンチの設置



3・令和7年10月21日

獅子舞の練習会

4・令和7年11月1日

三井里山文化展への参加 獅子舞披露



11月1日の三井里山文化展で披露する獅子舞を洲衛獅子舞保存会の方々の協力を得て実施。

5・令和8年1月18日
新年餅つき大会



4. 活動の成果

毎回の活動やイベントに多くの住民及び地域の方々に参加頂いており、段ボール収納の配布や、集会所前のバーベキューベンチの設置などによる空間的な支援と、各種ワークショップやイベント開催によるコミュニティ支援は、住民の方々から頂く感想や意見から一定の効果を得ていると思われる。特に獅子舞ワークショップ開催においては、保存会の方々が熱心に指導頂き、ワークショップ当日にも80名を超える多くの地域の皆さんに訪れて頂いた。地域固有の文化を継承することの意義を学生共々地域の方々と共有させて頂いたことは、今後の活動につながる大きな成果であったと言える。

5. 今後の活動計画

復興公営住宅の計画や建設の状況から仮設住宅の利用は3年目にも継続して行われることは確実であるため、これまでの支援活動を継続する予定である。何より、震災から2年が経過した現在において、学生を中心とした若い人々が被災地のことを忘れることなくずっと思い続けて活動を継続することの重要性を実感している。

その一方で、これまでの活動を通じて新たな課題も見えてきている。大きくは、様々なイベントなどに参加してくれる住民の固定化と高齢男性の参加率の低さの2点である。今後の活動においては、この2つの課題を解決する方法を探りながら、今後の復興に向けた地域のアイデンティティの継承と創出の支援につながる活動を展開してゆければと考えている。

6. 活動に対する地域からの評価

GAPPA notoの皆様におかれましては、輪島市三井地区において能登半島地震により被災され、仮設住宅団地で生活されている方々を始め、三井地区の皆様に対し様々な御支援をいただき、心から感謝を申し上げます。皆様には、これまで段ボール収納の配布やBBQベンチの設置など、長期化する仮設住宅の生活に利便性を与えていただくとともに、獅子舞の披露やBBQ大会の開催、お餅つき大会の開催など、住民が集い楽しめる場を設けていただくことにより、これまで顔を合わせることの無かった住民同士のコミュニティ醸成にも大きく貢献していただきました。被災された方々の住まい再建には、まだまだ時間がかかる見込みでありますので、引き続き変わらぬ御支援をいただければ幸いに存じます。

この度の御支援、誠にありがとうございました。

輪島市総務課 坂本修氏からのコメント